

今年度の文芸会は映像作品で発表する！

「コロナ禍でも存続可能な文芸会を作り上げる」

実行委員のこの熱い思いによって、一歩ずつ計画が進み始めました。これまでの主な動きをご紹介します。

7月22日（水）実行委員がレクチャーを受ける

実行委員会と担当の先生で新潟大学教育学部の柳沼宏寿先生をお招きし、映像作品の作り方や考え方のポイントなど、作品例を紹介いただきながら教えていただきました。



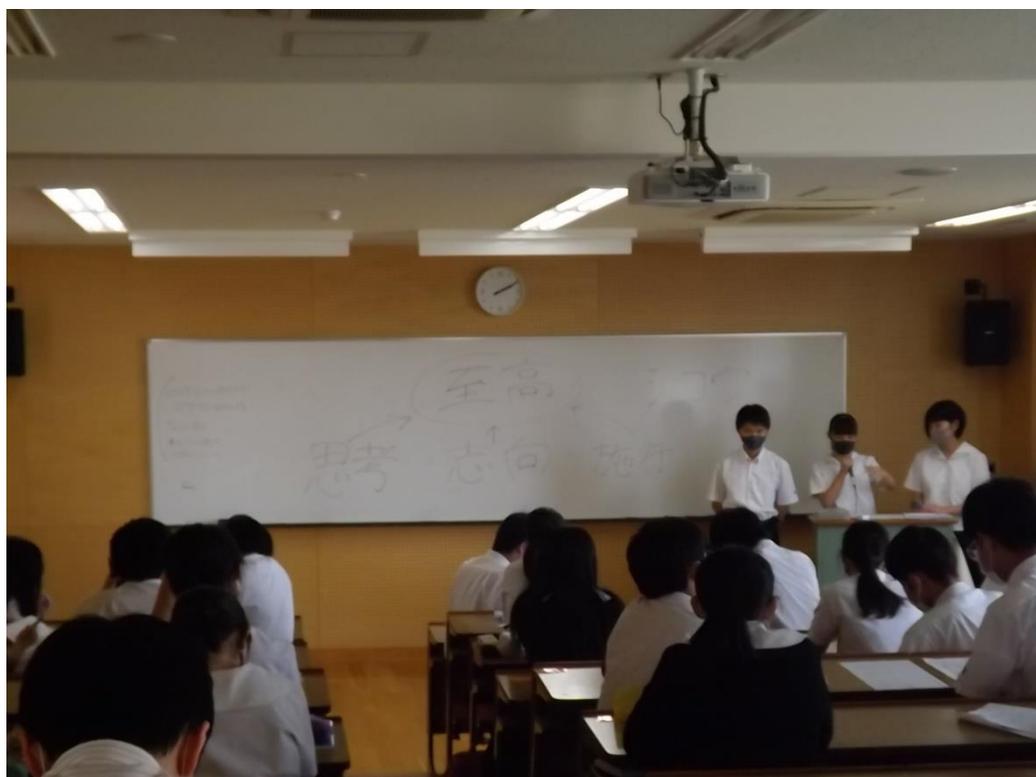
7月30日（木）学級や部活動等のリーダーとイメージを共有する

実行委員が次に行った大きな活動として注目すべきは、それぞれのリーダーを集めて、再び柳沼先生からご教授いただいたことです。「映像でなんて無理でしょ」と思っていた生徒も、数々の作品を見せていただき、「テーマをもとに作品を作る」ことを学んだことで、「これならやれる」「やってみたい」に変わっていきました。



8月5日（水）4役会議

実行委員会から、各学級、部活動など映像作成のリーダーを対象にした説明会が開催されました。いよいよ本格的な活動スタートです。



説明を受けるリーダーは、柳沼先生から作品例や映像を作成するポイントを教えていただいたことで、何をどのようにするのかイメージがわいたようです。実行委員の提案に対して鋭い質問や建設的な代案が出されました。



今現在は、アイデアを個人で構想する期間です。それまでに実行委員は、質問を受けて検討すべきことを整理し、休み明けにはっきりとさせて各学級や部活動等に返答します。

準備は始まったばかりですが、時間はそれほどありません。休み明けには各団体で具体的な計画を打ち出し、合意を図り、作品作りを進めていきます。休み明けからもフル稼働です。